

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	編輯後記
Author(s)	徳廣
Citation	龍南, 186: 58-58
Issue date	1923-07
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/8653
Right	

守尾盛秀、森本忠八、中村弘道、森田林次、龍幾太郎、内野孝、橋本亭、山本要人、松岡平一（先輩）、安住三夫（先輩）、古賀繁一

かくして我々の生活は幕を閉じた。

お互に生命の向上を圖る情熱的な若い人々の集ひである。利害關係のない純真な結合である。私共委員は只この意義ある團體生活に對してあまりに力が弱すぎたため會員諸君に幾多の不滿があつたらうことをお詫びすると共に、来るべき日の水泳部が確實なる發展を遂げんことを祈つてゐる。

最後に宿所の件につき色々御盡力下さつた女學校長中野才治氏及び我々の生活に光と熱さを加へ且つ物質的の補助をも考へて下さつた溝淵校長、池田先生初め諸先輩に對して感謝致します。

尙九月十七日武徳會主催の水泳大會が法螺貝淵で行はれ五高からも出場者があり、左の三君授賞されたことを附記して置きます

山本 晋 辻 猛三 角松佐太郎

大正十二年水泳部合宿案内（本田）

今年度も例年の通り次の期間合宿を開催す

諸兄の猛烈なる來會を希望します。（尙ほ先輩諸兄の御來會も大いに歓迎します）。

一、期間

宿 舎

七月二十九日より

唐津町唐堀松雲寺

八月七日まで（十日間）

唐津高等女學校

二、合宿費

一日に付壹圓の豫定

三、師範

緒方勸先生（東京高師本年度卒業の新進にして新しき水泳術に達せらるる）。

四、諸注意

A、毛布の類を一枚持參するを便とす

B、合宿の位置は唐津驛前に揭示す

C、三哩（八月五日頃）、五哩、十哩（八月十二頃）遠泳を行ひ、成功者にはメダルを呈す。

編輯後記

▼勘違ひをした梅霖が白川一杯に濁り水を流したものだから、此の向きでは白川べりの活版所も浸水して、「龍南」もお流れになるかと思ひに、昨日から校正にさしかつてゐます。

▼前委員もこぼしてゐたことが、原稿の集まらないのは大頭痛だ。試験前の或日、私は五十枚足らずの投稿を何度繰つてみたかわからない。けれども殖はるわけでもなし、それがさ云つて、薄つべらなのが配付されるのを考へるに堪らない。私は馬鹿息をいさほしがる母親の氣持で、其の投稿を繰つて見ることを止めなかつた。さもあらばあれ、責めは自分にあるを思はずにはゐられませぬ。

▼貴重な時間を割いて物せられた研究論文を寄せられた方には、掲載することの出来なかつたのを厚く御こさわり申し上げます

▼次號は懸賞文號で、來學期中頃發刊する筈です。緊要一番、諸君の盛なる投稿を待たずにはゐられませぬ。（七月八日徳廣）